

うつらない！うつさない！

新型コロナウイルスの感染予防に努めましょう。

尼崎市教育委員会

児童生徒の新型コロナウイルスの感染者が増加しています。市立各学校園では施設内の感染拡大防止策を徹底する中で教育活動を継続しておりますが、お子様が安心して過ごせるため、保護者の皆様におかれましても改めて次のことについてご協力をよろしくお願いいたします。

1 少しでも感染の可能性がある場合は、登校(園)を控えてください。

- 👉 お子様に発熱やその他風邪などの症状がある場合
- 👉 ご家族や本人が検査を受けることになった場合

いずれの場合も、**わかり次第**

- ① **決して登校(園)させず** ② **必ず学校(園)に連絡** してください。

注1) どちらの理由でお休みになる場合でも、欠席扱いとはいたしません。

注2) 陽性となった児童生徒が上記以降も登校していた場合、学校(園)内における2次感染や臨時休業の長期化の可能性が高まります。

2 ご家族みなさんで感染予防に努めてください。

児童生徒の感染の原因で最も多くを占めるのが家族間感染です。

正しい情報をもとにご家庭での感染予防に努めましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

